

□新規 ■継続 □継続【一部新規】

| | |
|---------|--------------|
| 要 望 事 項 | 腰巻川の早期改修について |
|---------|--------------|

| | | |
|-------|---|----------------|
| 要 望 先 | 国 | 国土交通省水管理・国土保全局 |
| | 県 | 県土整備部河川砂防課 |

| | |
|-------------------------------|---|
| 要 望 内 容 | <p>○ 弘前市豊田一丁目地区から南大町地区までの河川改修の促進について</p> |
| 現 状 と 課 題 ・ 具 体 的 内 容 ・ 効 果 等 | <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 近年、局地的大雨による都市型水害が多数発生しております。 ○ 市街地を流れる腰巻川は、平川合流地点から弘前年金事務所前までの整備を完了しておりますが、その上流区間は未整備となっております。特に、JR奥羽本線を横断する箇所は河道が狭く、線形も屈曲していることから、大雨時には頻繁に溢水が発生しております。 ○ 本市では、三岳公園付近での雨水貯留施設について、平成29年度から一部着工していることから、下流の腰巻川の改修が急がれます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>[腰巻川整備済み区間]</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>[JR 奥羽本線を横断する箇所]</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> |

【具体的内容】

未整備区間の河川改修を早期に着工していただくようお願いいたします。

- ・弘前市豊田一丁目地区から南大町地区までの河川改修
- ・ボトルネックとなっているJRの横断部分の解消

【効果等】

- 県と当市が一体となって浸水対策に取り組むことで、市街地の浸水被害の解消が図られます。
- 雨水貯留施設の整備により、河道断面の縮小と事業費の圧縮につながります。



[平成 26 年 8 月 JR 横断部溢水]



[平成 25 年 9 月 市道冠水]

市民の安全で安心な生活の確保

< 主な経過 >

現在までの主な経過・参考事項

| | |
|--------|------------------------------------|
| 昭和57年度 | 中小河川改修事業により整備開始 |
| 平成 9年度 | 平川合流点より弘前年金事務所（洞喰川合流点）までの3.53kmを整備 |
| 平成10年度 | 全国的な河川事業見直しにより事業を休止 |
| 平成23年度 | 河道計画の検討 |
| 平成24年度 | 〃 |
| 平成27年度 | 流域調査業務 |
| 平成28年度 | 計画流量及び計画河道断面の見直し等 |
| 平成29年度 | 流域（詳細）調査、（JR横断部）地質調査、地下水調査 |
| 平成30年度 | 浸水想定区域図（想定最大規模の降雨）作成 |
| 令和元年度 | 河道ルート検討、JR及び弘南鉄道横断検討 |
| 令和 2年度 | JR奥羽本線横断協議、横断部再検討 |

県の処理方針 （県土整備部 河川砂防課）

経緯

1. 腰巻川は、弘前市中心部を流れる土淵川の支川だったが、昭和40年代から50年代にかけて度々浸水被害が発生したことから、沿川の開発計画に合わせて、平川に直接合流させる計画を策定し、昭和57年度に中小河川改修事業に着手し、平成8年度までに支川洞喰川（準用河川）合流点までの3,530mについて完了している。
2. 洞喰川合流点上流の620mについては、弘南鉄道弘南線及びJR奥羽本線を横断することから多額の事業費が見込まれたため、河川事業の重点化・集中化を進める中で平成10年度から休止した。
3. 近年では大きな浸水被害はないものの、大雨時には鉄道横断部の上流側において河道からの溢水が度々発生していることから、平成23年度から河道計画策定のための調査・検討に着手している。

処理方針

腰巻川については、住宅密集地であり、また鉄道横断部もあることから、現在、鉄道事業者と協議を進めていますが、河川改修には多額の事業費や相当の協議期間を要すると見込まれます。

今後も、平川広域河川改修事業の他工区（引座川・大和沢川）の事業進捗等を踏まえながら、着工に向けた調査・検討や関係機関との協議を進めて参ります。